

第56回通常総会・平成23年新年名刺交換会



第56回通常総会

[第56回通常総会]

- 1 開催日時 平成23年1月12日(水) 15時30分～16時35分
- 2 開催場所 生田神社会館 3階 菊
- 3 出席会員 115社(委任状提出 57社を含む。)
- 4 結果

(1) 会長挨拶(要旨)

我々電業協会も今年で29年となり、もうすぐ30周年を迎えようとしています。

現在、会員149社ですが、当協会の運営が安定するようにこれからも会員の増強に皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

最初に、昨年の総会で藤井前会長が旗を振りまして、当協会は公益社団法人で行こうということで皆さんにお諮りし賛同を得ましたので、公益法人制度改革特別委員会において、検討を進めてきたところですが、公益社団への移行は非常に難しいという方向性が出てまいりました。

県当局も、同業者の団体は主としてその会員のための共益事業を目的とする団体であるとの認識ですので、公益社団への移行は極めて難しいということです。

また、(社)日本電設工業協会や関係団体も既に一般社団で行くという方向が決まっており、特に、上部団体である(社)日本電設工業協会が一般社団ということですので、下部組織である当協会が公益社団になるというのは、中々理解が得られないのが実状であります。

つきましては、これから年度末にかけて地区懇談会を各地で開催しまして、今までの経緯をご説明し、皆さんのご意見を賜りながら、5月の総会で旗を降ろす方向で皆さんのご賛同を得たいと考えていますのでよろしく申し上げます。

そういった中で、昨年衆議院議員の高市早苗氏の「日本を取り戻そう」をテーマにした講演をお聞きしました。その講演内容は「自衛隊法」の改正と「永住外国人の地方参政権付与法案」及び「夫婦別姓法案」の阻止、それから、日本の森と水を守る議員立法についてでしたが、それぞれ重大な問題を抱えているとの観点からご講演され、深く共鳴するところがありましたので、皆さんにご披露させていただきました。

今年は皆さんに会員増強へのご協力を賜り、また、当協会が一層発展するよう皆さんのご協力をお願い申し上げます。

(2) 議長選出

西村善明会長を議長に選出

(3) 議事録署名人選出

東洋電気工事(株)合田吉伸氏及び(有)中村電設興業篠原潔氏を選出

(4) 議事

第1号議案 平成22年度補正予算に関する件、第2号議案 会費改定に関する件、第3号議案 平成23年度事業計画に関する件、第4号議案 平成23年度収支予算に関する件及び第5号議案 役員選任に関する件

いずれも、拍手多数で可決承認

5 平成22年度永年勤続優良従業員表彰

議事終了後、同会場において、20年度から新設された永年勤続優良従業員表彰の授賞式が行われました。

会員企業から推薦のあった、永年にわたり勤務され、勤務成績良好で他の模範となる次の7名に対し、西村会長が表彰状及び記念品を授与しました。

横野幸三(尼崎電機(株))、津田芳之(小川電設(株))、小寺八重子(コガセ工業(株))、豊谷茂樹(西部電工(株))、尾崎行輝(ダイトウ電気工事(株))、上村督正(藤井電機(株))、木村俊一(ミナト電気工事(株))



表彰式

6 特別表彰

続いて永年にわたり常任理事を務められ、このたび退任された山崎英彦氏に表彰規程に基づき西村会長から感謝状並びに記念品が贈呈され、総会は閉会しました。

[平成23年新年名刺交換会]

午後5時から同会館4階富士において、兵庫県知事 井戸敏三氏、同副知事 吉本知之氏をはじめ兵庫県・神戸市幹部、関係団体代表等のご来賓をお迎えし、平成23年新年名刺交換会が開催されました。

開会に先立ち、まず、生田神社の巫女によるお神楽・豊栄の舞を奉納し、参会者の繁栄を祈念した後、西村会長の挨拶、井戸知事及び原亮介顧問(兵庫県議会議員)の祝辞、来賓紹介の後、平成22年7月に国土交通大臣表彰を受賞された平井伸幸副会長に西村会長から協会祝い金が手渡され、祝意を表しました。

続いて賛助会員の紹介の後、川端相談役の発声による乾杯で、和やかな懇親パーティーに入り、出席者の交流を図りました。



お神楽・豊栄の舞



西村会長挨拶



井戸知事祝辞

井戸知事挨拶要旨

皆様、明けましておめでとうございます。今年は辛卯の年でございます。辛は辛抱の辛、辛抱すれば良いことがあるという年にしたいと思っておりますし、卯は跳躍をする年でありますから、いずれにしても新しい世界に向かって大きく旅立つ年に是非していきたいと願っています。

しかし、願いを実現するには、高く志を掲げて、そして努力をすることが必要です。今日、高校サッカーで優勝した滝川二校が優勝報告に来てくれました。私もPK戦で勝てるチームは強いという話をしたのですが、結局、チームプレーだけでなく、個々人の強い実力があってはじめてPK戦に勝てるのだと思います。

電業協会の環境は厳しいと言われておりますが、そういう意味では需要をうまく喚起して取り込んでいくことが大切ではないかと思っております。ただ、本県は財政再建のフレームの見直し最中であり、公共事業は23年度予算も22年度に対してマイナス5%であり、その対策として出来ることを、予算編成で十分に検討していきたいと考えています。

一方では、電業協会の皆さんには省エネ、あるいは環境対策に大変貢献していただいておりますが、今後、本県も国に準じて2020年マイナス25%（二酸化炭素排出量削減）を目指さなければいけなくなると思います。そうすると排出権取引だとか森林吸収量を加味しても6%から更に6%程度を上積みする必要があり、そのためには空調だとか電気の効率化が非常に重要となり、業界の皆さんの教えと工夫を期待しております。

西村会長に関西広域連合の激励をいただきましたが、この広域防災計画を兵庫県が担当していますので、1年以内ぐらいに計画を作って将来に備える決意です。さらに、国の出先機関の業務に関西広域連合が受けられれば、県の事業と併せて効率的な一体処理が出来るのではないかと、私自身思っておりますので、それに対する道筋を是非つけていきたいと願っているところでございます。

最後に兵庫県電業協会の皆さんが、これからも益々電気工事の分野でご活躍、発展されることを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。今年もよろしく申し上げます。



原顧問祝辞



川端相談役乾杯

主な行政関係出席者(敬称略)

井戸敏三（兵庫県知事）、吉本知之（兵庫県副知事）、原亮介（兵庫県議会議員・協会顧問）、中村健一（県理事）、川端宏幸（県まちづくり担当部長）、富岡寛美（県環境管理局长）、松本啓朗（県住宅建築局长）、玉田尋三（県企業庁次長）、岩佐秀人（神戸市都市計画総局参事）、小松原正俊（兵庫労働局労働基準部長）、鷺尾英己（兵庫県住宅供給公社常務理事）